

第30回全国街路事業コンクール 第2次審査用資料

様式1

ふりがな 応募者名		きょうとしけんせつきょくどうろけんせつぶどうろけんせつか 京都市建設局道路建設部道路建設課
街路事業	ふりがな 事業の名称	きょうとえきはちじょうぐちえきまえひろばせいびじぎょう 京都駅八条口駅前広場整備事業
	ふりがな 事業主体	きょうとし 京都市
	ふりがな 実施都市名	きょうとし 京都市
	事業概要 (400字以内)	
事業規模		○事業延長:740m ○事業費:約46億円 ○幅員:36m～74m ○事業期間:平成25年度～平成28年度
事業の目的		本事業箇所は、昭和39年の東海道新幹線開業以来、一度も大規模な改修がなく、時代のニーズに合わないものとなっていたため、「①駅中央にバス・タクシーが集中し、輻輳している」、「②ゆとりのない歩道に歩行者が溢れかえっている」、「③路線バス停留所などの各施設の配置がわかりにくい」、「④6車線もある八条通により分断され、京都駅の南側地域との連続性が損なわれている」など様々な課題を抱えていた。 そのため、「①『歩くまち・京都』の玄関口」、「②京都の顔」、「③まちの賑わい」の3点を整備の基本方針として、駅前広場として必要な機能の施設配置の見直し(バス・タクシーの動線分離、ショットガンシステムの導入)や、八条通の車線数の減少、パーキングチケットの廃止により生み出された空間を有効活用するなどの整備を行い、交通の整序化を図り、安全で円滑に移動できる空間とした。 また、待ち合わせスペースとしても活用できるみやこ夢てらすの新設やサンクンガーデンの改築などを行い、京都駅南側地域への新たな賑わいを創出できる空間を確保するとともに、京の駅前庭園として四季の彩り、香りを盛り込んだ京都らしい憩いの空間を創造した植栽を行った。 ＜整備の特徴＞ ① 公共交通の利便性の向上…「分散されていた路線バス停留所を駅正面に集約」、「雨に濡れずに乗継ができる屋根の設置」など ② 快適な歩行者空間の創出…「バリアフリー対応の歩行者空間の整備」、「自転車通行環境の整備による歩行者空間との分離」など ③ 限られたスペースの有効活用…「八条通の交通量を踏まえた車線数の見直し」、「地下空間を有効活用した駐輪場の採用」など
事業効果		・ 円滑な交通の確保…平面での移動に重点を置いた整備としたことで、バリアフリーに優れた空間を確保するとともに、駅中央にバス・タクシーを分離し、不足スペースは隔地駐車場からのショットガンシステムや予約制を導入し、交通整序化に寄与した。 ・ 交通安全性の向上…八条通の車線数の減少による歩行者の横断距離の短縮や歩車分離信号を導入することで、交通安全性が向上した。 ・ 公共交通の利便性の向上…路線バスと鉄道とののりかえ時における移動距離を短縮することで、公共交通の乗継利便性が向上した。 ・ 「たまり空間」としての機能の付加…上屋の整備により雨に濡れずに待ち合わせができたり、京都らしい憩いの空間を創造した植栽を行ったことで、観光都市・京都の玄関口にふさわしい空間の創出に寄与した。 ・ 土地利用の促進…八条通の平面での移動が容易になり、京都駅南側地域におけるホテルの建築など、土地利用の促進に寄与した。
地元対応等	・ 地域住民との協働等 ・ 事業反対等があったか ・ 合意形成等を図ったか ・ 地域に配慮した点	・ 駅前広場のリニューアル計画(基本方針など)に関するパブリックコメントの実施(平成22年4月～5月) ・ 駅前広場の施設配置に関するパブリックコメントの実施(平成22年7月～8月) ・ 駅前広場の整備計画の策定(平成23年3月) → 都市計画変更(平成25年5月) ・ 地元住民や関係機関、関係事業者が参画したエリアマネジメント会議の開催(平成25年12月～) ・ 起工式典(平成26年11月) ・ 機械式地下駐輪場の供用開始(平成27年2月) ・ 第10回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト 日本植木協会賞受賞(平成28年2月) ・ 京都駅八条口のプレオープン(みやこ夢てらすとその周辺の供用開始)(平成28年3月) ・ 京都駅八条口のグランドオープン(平成28年12月)

完成全景

平成28年11月撮影



整備効果アピール資料

円滑な交通の確保（歩行者）

平面での移動に重点を置いた整備にするとともに、新設したみやこ夢てらすやサンクンガーデンにエレベーターやエスカレーターを整備して、上下移動も円滑にした。

エレベーター

駅や地下道と直結し、バリアフリーで移動可能となるようエレベーターを新たに整備

設置箇所数

4箇所 → **8**箇所



エスカレーター

路線バス停留所と京都駅の移動を円滑にするためのエスカレーターを新たに整備

設置箇所数

2箇所 → **5**箇所



円滑な交通の確保（自動車）

路上に停車していたタクシー、貸切バスのための待機場を整備やショットガンシステムを導入することで、八条通の自動車交通を円滑にした。

八条通本線の交通と分離した待機場の整備



八条通上に溢れる
貸切バス・タクシー
（整備前）

待機場の停車可能台数

約 **50** 台（タクシー）

12 台（貸切バス）



タクシー待機場

待機車両と分離された八条通本線



貸切バス乗降場

この他にも、京都駅から離れた箇所に第2待機場を設け、駅前の待機場所の利用状況に応じて自動的に車両を送り出す「**ショットガン方式**」も導入

整備効果アピール資料

交通安全性の向上

八条通の横断距離の短縮や歩車分離信号の導入, わかりやすいサインの設置などにより, 安全で快適に歩けるように整備した。

八条通の横断箇所の追加

車道の縮小による横断歩行距離の短縮

横断歩道設置箇所数

4箇所 → **7**箇所

八条通の横断距離

約**27**m → 約**18**m

サインの追加設置

駅前広場や駅周辺の案内を八条通の各所に設置

サインの追加設置数

23箇所新設



八条通南側への
アクセス性の向上

京都駅周辺の
案内機能の強化

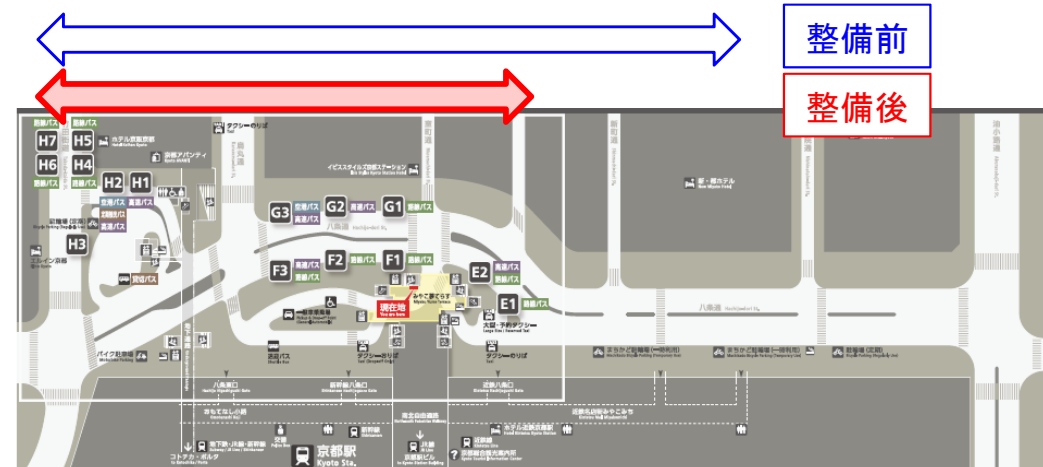
京都駅南側の土地利用の活性化

公共交通の利便性の向上

路線バス停留所を駅正面に集約し, 鉄道とバスののりかえ時の移動距離を短縮し, 公共交通の乗継利便性が向上した。



バス停の範囲



整備効果アピール資料

「たまり空間」としての機能の付加

みやこ夢てらすやサンクンガーデンを雨に濡れずに待ち合わせができる空間や京都らしい憩いの空間を創造した植栽により、京都の玄関口にふさわしい駅前広場とした。

新たな待ち合わせ場所の整備

みやこ夢てらす

京都駅に直結した新たな待ち合わせ場所として、約600m²のデッキを新設



サンクンガーデン

既存の施設を改修し、屋根のある貸切バスの待ちあいにも使える空間を整備



香る木の植樹による京都らしい憩いの空間の創造

駅前広場の再整備とあわせ、京の駅前庭園として、四季の彩り、香りを盛り込んだ樹木を植栽することで、人にやさしく、さらに、京都らしい憩いの空間を創造します。

この植栽計画は、環境省主催の第10回「みどり香るまちづくり企画コンテスト」において、日本植木協会賞を受賞しました。



受賞作品



参考URL:https://www.env.go.jp/air/akushu/midori_machi/



(1) 八条通(歩道)
(ゆとりのない歩道)



(2) 八条通(車道)
(タクシーの待機により機能していない車道)



(3) サンクンガーデン
(雨天時は利用ができない空間)



(4) 路線バス停留所
(上屋がなく、狭い停留所)



(5) 貸切バス乗降場
(容量を超えた運用となっている乗降場)

事業後写真

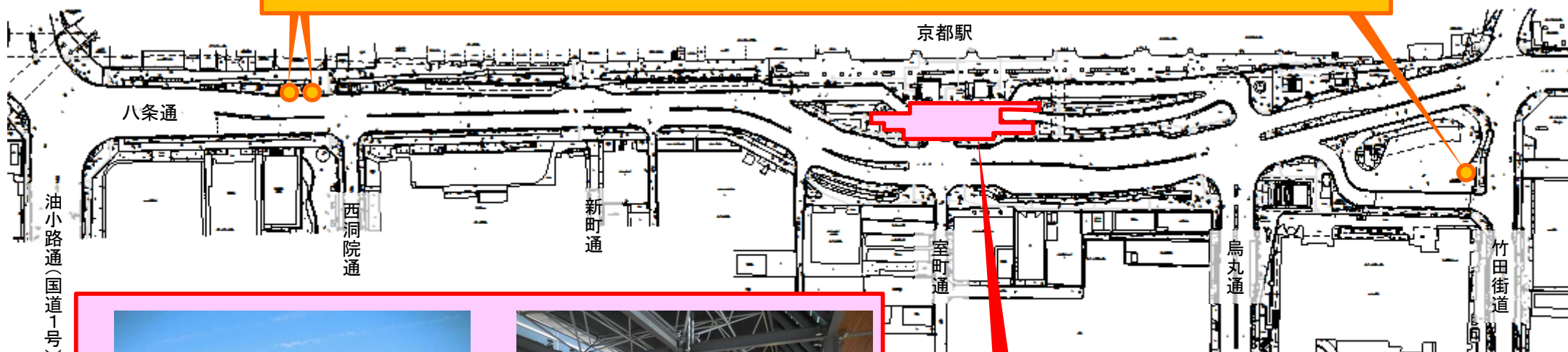
(1) 機械式地下駐輪場 (省スペースで収容力の高い駐輪場)

限られた空間を有効活用し、地下空間を利用した高い収容能力を持つ機械式地下駐輪場を京都府内で初採用しました。

収容台数: 204台/基 × 3基 = 612台



機械式地下駐輪場外観
(平成29年12月撮影)



みやこ夢てらす外観
(平成29年11月撮影)



みやこ夢てらす内部
(平成29年11月撮影)

(2) みやこ夢てらす (路線バスなどとののりかえに便利なデッキ)

大屋根によるシンプルなデザインは、まちの玄関である京都駅八条口における「門」を象徴的に表現。南北自由通路と直結し、階段、エスカレーター4基（東西に2基）、エレベーター3基を備えています。

路線バスのりばや一般車乗降場などへ、バリアフリーで雨に濡れることなく、直接、アクセスできます。

事業後写真

(3) タクシー乗降場、送迎ゾーン (京都駅と上屋で直結した便利な乗降場)

八条通の車線数の変更(6車線→4車線)やパーキングチケット駐車場の配置により、障害のある方をはじめ、一般車や送迎バスの乗降場を駅正面東側に整備。また、雨天時でも利用しやすいように上屋も設置しました。

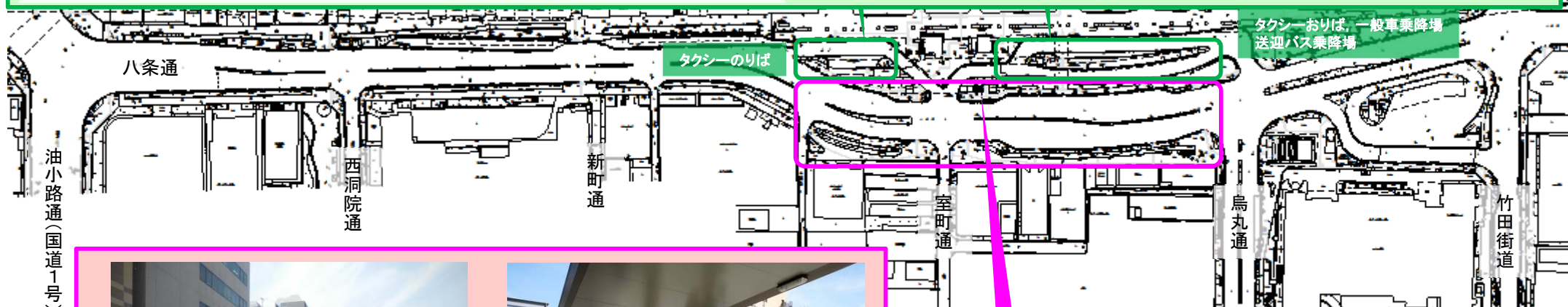
また、のりばとおりばが混在していたタクシーは、駅の東と西に分離してわかりやすくするとともに、駅西側に約50台の収容台数のある待機場を整備しました。



一般車乗降場
(平成29年12月撮影)



タクシーのりば
(平成28年10月撮影)



路線バス停留所(空港バス)
(平成30年3月撮影)



路線バス停留所(市内路線)
(平成30年3月撮影)

(4) 路線バス停留所 (上屋のある停留所を駅正面に集約)

路線バスや高速バスなどのバス停を駅正面に集約。鉄道とののりかえが多い市内路線バスをみやこ夢てらすから近い位置に配置するなど、公共交通の乗継の利便性を向上させました。

また、雨天時でも雨に濡れずにのりかえられるように、上屋を設置しました。

事業後写真

(5) サンクンガーデン (貸切バスの待合所としても活用可能)

貸切バス乗降場のすぐそばに上屋と大階段を整備。修学緑制など約300人がバスを待てるスペースを確保しました。また、地上部にトイレを設置するとともに、水飲み場やドライミスト設備、地上と地下をつなぐエスカレーター(2基)を設置しました。



サンクンガーデン(地上階)
(平成29年4月撮影)



サンクンガーデン(地階)
(平成29年5月撮影)



貸切バス乗降場
(平成29年5月撮影)



貸切バス乗降場利用状況
(平成30年3月撮影)

(6) 貸切バス乗降場 (停車できる規模を倍増し、上屋も新設)

八条通の自動車交通を整除化するため、貸切バス乗降場をタクシーの経路と分離して配置。停車可能台数は整備前の2倍(6台→12台)に広げました。

また、雨に濡れないようにご利用いただけるよう、バスを覆う大きさの上屋の設置や乗降場と地下道を直結する階段やエレベーターも設置しました。